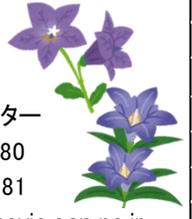


すみれ通信 9月号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に
発信しています

(第123号)

〒 251-0032
藤沢市片瀬339-1
藤沢市医師会館
在宅医療支援センター
TEL 0466-41-9980
FAX 0466-41-9981
✉ fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp

R7年度 第1回「在宅医療・介護連携」職種研修会報告

日時：令和7年7月24日(木) 19:00~20:30

テーマ：藤沢市内病院の病床と役割を知ろう
～まずは急性期病院の役割から～

内容：湘南藤沢徳洲会病院、藤沢湘南台病院、藤沢市民病院の患者総合支援センター職員の方から急性期病院の役割や各病院の説明をしていただき、その後参加者との質疑応答を行った。

参加者：62名 スタッフ8名

アンケート回収数：58人
(回収率 92.1%)

【参加者状況】

所属先	人数
病院・医院	15
歯科医院	2
薬局	3
訪問看護ステーション	9
地域包括支援センター	12
居宅介護支援事業所	13
介護保険対象事業所	3
高齢者入居施設	3
市役所	2
その他	1

職種	人数
医師	5
歯科医師	1
薬剤師	3
看護職	20
介護職	3
ケアマネジャー	17
社会福祉士	4
ソーシャルワーカー	3
相談員	1
事務職	6

【頂いた感想等一部抜粋】

・急性期病院の現状やジレンマをお話し頂き、介護の現場とも共通だと感じた。在宅の方々がその人らしい望む生活ができるよう、広い目線を持つためにとても勉強になった。

・在宅での困りごとは病院での困りごとでもあるのだとわかった。ケアマネとして病院との情報共有も大事であると改めて実感した。

・急性期病院の現状を大変さも含め知ることが出来良かった。独居や認知、家族がいても難しい方など沢山あり今まで以上に今後どうしていきたいか把握しておき必要時は情報提供できる様にしていきたいと感じた。

質疑応答では多くの質問が出て、活発な意見交換が行われました。課題の多い病院と地域の連携を、もっと深めていけるよう取り組んでいきましょう。

R7年度 第2回「在宅医療・介護連携」多職種研修会

テーマ：もっと知ろう 地域包括ケア病床のこと

日時：令和7年10月2日(木) 18:30~20:30

場所：医師会館2階ホール



皆様ご参加ください *詳細は医師会ホームページ参照

ご存じですか



1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓発を実施しています。日本でも国民の間に広く認知症についての関心と理解を深めるために、毎年9月21日を「認知症の日」9月を「認知症月間」と定めており、藤沢市でもいろいろな活動が行われています。



「新しい認知症観及びおれんじキャンペーンについて」

藤沢市高齢者支援課

令和5年6月、共生社会の実現を推進するための「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立し、令和6年1月に施行されました。また、令和6年12月には「認知症施策推進基本計画」が閣議決定され、「新しい認知症観」が示されました。「新しい認知症観」とは、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことを実践し、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方とされています。

本市では、令和6年度より「藤沢市認知症施策検討委員会(おれんじ会議)」を新たに設置し、認知症ご本人にも委員として参画いただいています。「新しい認知症観」を踏まえながら、今後必要な認知症施策について委員の皆様にご意見を頂戴していきたいと考えております。

また、一人でも多くの人に認知症を「自分ごと」として捉えてもらう機会として、本市では毎年9月の認知症月間に「おれんじキャンペーン」を開催しています。今年度は9月14日に、湘南台駅地下アートスクエアで、かながわオレンジ大使をお招きしイベントを開催します。また認知症の日に合わせて9月19日~21日には、江の島のシーキャンドルをオレンジ色にライトアップしています。その他取り組みの詳細は市ホームページをご覧ください。多くの皆様のお越しをお待ちしております。

